



小郡市ゼロカーボンシティ宣言

国連のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、人間の活動が地球の気候を温暖化させてきたことに疑いの余地がないことを報告しており、近年、本市においても、地球温暖化が原因の一つと思われる大雨による災害が毎年のように発生しています。

2015年にパリで開催されたCOP21（気候変動枠組条約締約国会議）では、新たな国際枠組である「パリ協定」が採択され、「平均気温上昇を産業革命以前に比べ2℃未満に抑え、1.5℃以下に抑える努力をする」ことが、世界共通目標とされました。

一方、わが国では、2020年に当時の菅首相によって、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、翌年には「地球温暖化対策計画」が改定されて、「2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度から46%削減することを目指す」ことが示されました。

これらの状況を踏まえ、本市では、「小郡市地域温暖化対策ビジョン」や「エコ・オフィスおごおり（小郡市役所の環境保全に向けた率先行動計画）第5次計画」を策定し、地球温暖化や気候変動に対する取組を進めていますが、今後はより一層の取組強化が求められます。

地球規模の課題である気候変動の解決と脱炭素社会の実現は、今を生きる私たちの社会的責務であり、一人一人が地球環境に強い危機感を持って取組を強化し、ふるさとの恵み豊かな環境を次世代に引き継いでいかなければなりません。

このことから、本市は、市民や事業者、行政が一丸となって、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会の実現に向けて全力で取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和5年10月2日

小郡市長

加地良光